

# 非構造部材の耐震性能テーマに 今年度第2回研究会を開催

## 日本建築学会近畿支部 鉄骨構造部会

能をテーマに今年度第2回研究会をウエブ併用で開催した。

非構造部材や二次部材は地震時に損傷すると、人に負傷などの被害を及ぼす恐れがある。また、地震後の事業継続性やライフサイクルコストにも影響する。

これを踏まえ、今回の研究会は天井や外壁、間仕切り壁、設備機器類の取り付け部材など非構造部材や二次部材の耐震性能をテーマに設定。建築物全体の耐震性能の評価に非構造部材の損傷を考慮する手法、個別の非構造部材の地震動挙動や耐震性能に関する研究成果、非構造部材の損傷に関するモニタリング手法や非構造

部材を利用した制振装置の提案などについて、6名の講師が講演した。講演タイトルと発表者は次の通り。

▽「二次部材損傷を含む建築耐震性評価と研究動向」長江拓也氏(名古屋大学)▽「地震時における天井落下被害と天井耐震化に向けて」元結正次郎氏(東京工業大学)

▽「病院施設の振動造部材と機器の挙動」倉田真宏氏(京都大学)▽「非構造部材におけるボルト接合部の地震時挙動」黒澤未来氏(東京工業大学)▽「非

構造部材を対象とした画像計測に基づく損傷検知の現状と課題」藤田皓平氏(京都大学)▽「環境装置をマ

スタンプの錘とした制振建物」浅岡泰彦氏(大林組)



非構造部材、二次部材の耐震性能をテーマに学ぶ